

## コニカが提案するデジタル医用画像診断システム 「コニカデジタルイメージングシステム2000」



コニカは国産初のX線フィルム発売以来、独自のノウハウと技術力で数々の画像診断システムを開発・提供してきました。医用画像のデジタル化が急激に加速する近年では、「デジタル、ドライ、環境」をキーワードに、多彩なお客様ニーズに対応可能なシステム機器を開発・商品化しています。最新の「コニカデジタルイメージングシステム2000」では、高精細デジタル画像を撮影しネットワーク出力するダイレクトデジタイザ「REGIUS」シリーズ、医用画像データを統合的に管理・運

用するオープンネットワークシステム「VISICUL」シリーズ、高精細な医療用ハードコピーを出力する「レーザーイメージャDRYPRO」とイメージャのオープンネットワーク化を実現するインターフェース「Printlink」の組み合わせにより、拡張性のあるオープンネットワークシステムをご提案しています。

なかでも新製品の「コニカレーザーイメージャ DRYPRO MODEL 722」は環境保全を考慮し、現像処理液を不要とした完全明室ドライシステムでありながら、高精細な画像を世界最速

(発売時)でフィルム出力でき、医療に携わるお客様から発売以来好評を得ています。特に、小回りの効くコンパクトなカセットタイプの高精細デジタルX線画像撮影装置「コニカダイレクトデジタイザ REGIUS MODEL 150」との組み合わせは、規模に応じた柔軟なシステム構築が可能であり、大病院からクリニックまで幅広く対応できるシステムとして国内外から高い評価を得ています。



コニカダイレクトデジタイザ  
REGIUS MODEL 150



コニカレーザーイメージャ  
DRYPRO MODEL 722